

イベント開催のお知らせ

8/27

14:00
-16:00

NPOの
資金調達講座

准認定ファンドレイザーから、資金調達・ファンドレイジングについて基礎を学び、今後の活動につなげていく講座です。

◆申込フォーム◆

場 所 コムズ3階会議室1-2
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 NPOの設立をしたい方
NPOの役員の方10名

準備物 筆記用具等

9/27

①13:30
-16:00

令和6年度
子どもゆめ基金
助成金講座

令和6年度の子どもゆめ基金の説明や申請書の書き方についてのワークショップを行います。

ぜひお申込みください。

9/27

②18:30
-20:30

場 所 コムズ4階視聴覚室A・B
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 ①助成金申請が初めての方など
初心者向け
②助成を受けたことがある経験者向け
各30名

主 催 国立大洲青少年
交流の家

共 催 まつやまNPO
サポートセンター

講座の詳細・お申込み方法は、
右記のホームページをご覧ください。

主催者
ホームページ



各イベントや講座の詳細は、まつやまNPOサポートセンターホームページに掲載しています。

参加希望の方は、メール、FAX、申込フォームにて、お申込みください。参加費は無料です。

10/20

13:30
-15:30

NPO法人
基礎講座

環境保護、人権擁護、国際協力、福祉、教育など、様々な分野で活動するNPO法人の基礎知識をわかりやすく学ぶことができる講座です。

◆申込フォーム◆

場 所 コムズ3階会議室1-2
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 NPO法人について知りたい個人や団体15名

準備物 筆記用具等

サポセンだよりに関するお問い合わせは、まつやまNPOサポートセンターまで。

まつやまNPOサポートセンター

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel 089-943-5790

Fax 089-943-5796

Email pico@npo.coms.or.jp

HP <http://www.npo.coms.or.jp/>

Blog <http://blog.canpan.info/saposen/>

受付時間 平日 9:00~18:00 日祝 9:00~17:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)

Facebook



Instagram



まつやまNPO 検索



まつやまNPOサポートセンター 情報誌
matsuyama npo magazine

サポセンだより

2P 特集

知っていますか。総会で必要なこと!
NPOの総会について

2024

夏号



4P 令和6年度松山市民活動推進補助金
まちづくり提案制度(次世代育成支援事業) 審査会開催

5P ゴールデンウィークイベント実施
出前講座

6P 令和6年度松山市民活動推進補助金の採択団体が決定!&採択団体の活動報告

8P イベント開催のお知らせ

知っていますか。総会で必要なこと！ NPOの総会について

みなさんは、「総会」についてどれくらいご存じですか？

NPO法人はもちろん、株式会社やPTAでも年に1回は総会が行われているので、総会に出席したことがある人は多いと思います。しかし、団体の役員や事務局として、自ら総会を開催する場合、どのように開催するのか分からなくて大変だったということはありませんか？

この苦勞を次の総会に生かすため、今回の特集では、総会とはどのようなものなのか、総会の開催に関するポイントを解説していきます。



POINT 01 NPOの総会(社員総会)とは

団体の最高意思決定機関で、正会員(社員)によって構成される会議のことです。

NPO法人では、総会は最高意思決定機関と法で定められており、年1回の開催が義務となっています(NPO法第14条の2)。NPO法人に関する重要事項(定款の変更、解散及び合併など)は、総会で決めます。任意団体のNPOについても、団体の運営に会員の意思を反映するために、基本的には同様の考え方になります。

総会は、NPOの活動の透明性と公益性を保つために重要な役割を果たしています。

総会の種類

総会の種類は次の2種類があります。

① 通常総会

法律上の義務として、年1回開催しなければならない総会のこと。通常総会は、正会員が法人の業務に対して直接意思決定に参画できるもので極めて重要です。主な議題は決算案、事業報告、予算案、事業計画の承認です。

開催時期 NPO法では特に定められていませんが、所轄庁に事業報告書類を提出するため、事業年度終了後2か月以内に開かれるのが一般的です。

② 臨時総会

通常総会以外で、臨時に開催される総会のこと。

開催時期 ・理事会が必要であると認めたとき
・定款等で決めた人数以上の正会員から開催請求があったとき
・監事が招集したとき など



総会の構成員

総会は、正会員(表決権をもつ社員)の全てにより構成されています。正会員とそれ以外の賛助会員などのその他の会員では、次のような違いがあります。

① 正会員

団体の理念や事業に賛同して、入会した個人や法人。総会での議決権を持ち、団体の定款等で規定する重要な事項の決定に関与することができます。原則として1人に1つの表決権となります。

② 賛助会員(などその他の会員)

団体の理念や事業を賛助するために、入会した個人や法人。団体の定款等で規定すれば、種別を増やすことができます。総会で発言することは可能ですが、議決権がないため、表決権もありません。



POINT 02 総会の開催の流れ

1 総会資料の作成

理事や事務局等が総会資料(事業報告書、決算書、事業計画書、予算書等)を作成します。その後、監事による監査を行い、不備がないことを確認します。

2 総会議事内容の決定

総会で決める必要がある事(役員の選任、事業報告、活動決算など)の内容を検討し、決めます。定款で「総会に付議すべき事項」を理事会の権能としている場合は、その内容について事前に理事会の議決を得る必要があります。

3 総会の招集

理事は、自団体の定款の総会の「招集」の規定を確認して、以下のような事項に従い、少なくとも総会の日の5日前までに正会員の手元に届くように通知を行います。(NPO法第14条の4)

総会の招集通知に関する事項(一例)

内容	総会の日時、場所、議題等
対象者	全正会員、必要に応じて団体関係者
方法	書面、電磁的方法(電子メール等)、FAX等
期限	10日前、7日前、5日前等



4 総会の運営

総会では、開会挨拶、定足数(会議を開くために最低限出席しなければならない人数)の確認、議長及び議事録署名人の選出、議事進行、閉会挨拶などを行います。団体の状況に応じて、オンラインでの総会やみなし総会等での開催もできます。

5 議事録の作成

総会で決議した内容を記録するため、議事録を作成します。議事録は、組織内部の記録となるほか、法務局への提出書類、裁判の証拠になる場合もあります。記載内容は定款で規定されていますが、それ以外の内容を記載することもできます。

まとめ

POINT 01 総会にはルールがあります。

総会の開催には、ルールがあります。開催予定の2か月前には、必ず定款等を見て、自団体の総会に関するルールを確認しておきましょう。

POINT 02 NPOの理事には総会を開催し、説明する責任があります。

NPOの理事は、総会の意思決定に基づき、団体や法人を代表して業務を執行する「経営者」です。

そのため、正会員や団体の利害関係者に対し、法的な責任や義務が発生します。総会を開催し、説明する責任を果たしましょう。



01 報告 令和6年度松山市市民活動推進補助金 まちづくり提案制度(次世代育成支援事業) 審査会



「松山市市民活動推進補助金 まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)」の審査会が、今年7月6日にコムズで開催されました。この事業は子どもや若者が考えた松山市でのまちづくり活動を応援するもので、採択された団体には基金から補助金が交付されます。

今回審査会に臨んだのは、高校生や大学生から成る4つの団体でした。

最初に「松山市西中等教育学校新世界学辞典」は、エシカル消費の普及を目指し、広島県の牡蠣養殖場の環境対策についての調査と報告を行う事業を提案しました。次に「MARS24」は、興居島レモンを活用したイベントや商品開発を通じて柑橘産産を活性化させ、さらには交流人口を増やす事業を提案しました。続いて「ポチュロス」の事業計画では、子どもたちの創造力や行動力を刺激する活動として、創作活動や料理を通じた教育プログラムを提案しました。最後に「文化持続性について考える会」は、市民と文化専門家が対話を交わす場を提供する事業を提案しました。

各団体からは非常に熱意あふれる提案がなされ、次世代を担当する若者たちへの期待がますます高まりました。この審査会の結果は7月中に発表予定です。



02 報告 ゴールデンウィークイベント実施 出前講座

✓ ゴールデンウィークイベント実施



ゴールデンウィーク期間中の5月2日から6日にコムズで開催したイベントは、市民の皆様にNPOと当センターについて理解を深めていただくことを目指し、4つの異なる催しを行いました。

一つ目の企画、「NPOに関する謎解きクイズ」では、参加者の皆様にNPOについての様々な問題を出題し、その解答を求めるクイズラリーを行いました。

次に、「サボセンじゃんけんとガラポン」では、来場者の方へ景品をプレゼントするゲームを実施しました。そして「NPOのワード探し」では、コムズに隠したNPOに関連するキーワードを探すという演習形式のゲームを行いました。

参加してくださった皆様からは、「NPOについて新たに学ぶことができた」「クイズもじゃんけんも楽しく体験できた」など、沢山の嬉しい声をいただきました。

✓ 出前講座 松山市立内宮中学校



松山市立内宮中学校にて実施した出前講座の報告です。7月4日に同校へ向かい、3年生約150名を対象に「SDGs」についての講義を実施しました。同校ではすでにSDGsについての教育が盛んで、参加した生徒の9割以上がその17の目標を知っていました。

私たちの講座は前半と後半の二部構成で進行了ました。前半では、SDGsの成り立ちから始まり、そして世界から見た国の取組への評価や国・県・市などの行政機関、企業、NPOなどさまざまなステークホルダーの動向、更には高校生がいかにかSDGsに取り組んでいるかについても触れ、社会貢献の意義・役割について説明しました。

後半のワークショップでは、17の目標から自分が関心を持つものを選び、その目標と自分が住む地域の課題との関連性を考える活動を行いました。その後、考えた内容をグループ内で共有し、全体への発表を行いました。当日は体育館が非常に蒸し暑く、地球温暖化の影響を体感しながらの実施となりました。この出前講座が生徒たちのSDGsに対する関心を深め、更には身近な社会貢献についての意識を高めるきっかけになればと思います。

03 報告

令和6年度松山市市民活動推進補助金採択団体決定! & 採択団体の活動報告

松山市では市民活動を推進するため、「松山市市民活動推進条例」に基づいて「松山市市民活動推進基金」を設置し、市民の皆様から寄せられた寄付金と同額の市費を合わせ、NPO団体の活動に対する助成を行っています。令和6年度に採択された各団体の事業をご紹介します。各団体の活動にご注目ください。

▼ 立ち上がり支援

(順不同、敬称略)

団体名	事業名
1 子育て応援団あい♡いく	孤立しがちな乳幼児を育てる親子対象の子育て応援事業
2 特定非営利活動法人 Blue protect	愛する地域を守ろうプロジェクト2024
3 「新たな備えサポート隊 in松山」実行委員会	新たな備えサポート隊 in 松山
4 野真戸	子どもたちの生きる力を無料塾等を通して育てる事業
5 特定非営利活動法人 美腸フローラ倶楽部	子供と保護者に「腸」を整えて健康になるワークショップ
6 運動公園の動物を見守る会	地域猫事業
7 NPO愛媛室内合奏団	市民でつくる松山の第九2024
8 えひめジョリアムネット	松山市の女性活躍社会の為に「特技・得意を仕事にする!」マルシェ事業
9 NPO子どもの成長みまもり隊	子育て・特に乳幼児期に特化したスキルアップ事業
10 NPO愛媛県教育カウンセラー協会	「教員のメンタル」パワーアップ事業
11 NPO法人 さんぷれえいず	地域サロン 『みんなの音楽会3』
12 Bridge of friendship	ひろげよう! 友情の架け橋!
13 和らいヴ	ヒーリング・ケア・ツアー 2024
14 みくすべじたぶう	野菜に魔法をかけましょう!

▼ 成熟促進支援


団体名	事業名
1 障がい者・児の性と生を考える会	ヘルプマークの周知・活用促進事業
2 イイトコ道後	にぎわいピアガーデン

採択団体活動報告

令和6年度に採択された各団体の活動の一部をご紹介します。


今後の活動については、当センターのホームページ、SNS、または、各団体のSNS等をご覧ください。

4/29 特定非営利活動法人 Blue protect
愛する地域を守ろうプロジェクト2024




小雨の中、興居島で行われた公園と海水浴場の清掃活動は、高校生27名とボランティアスタッフの協力により無事終了しました。わずか2時間の活動で45ℓのゴミ袋が71袋集まるという結果は、海洋ゴミ問題の深刻さと、地域の自然環境保護の重要性を再認識させられるものでした。

5/12 NPO愛媛室内合奏団
第九講座と市民でつくる松山の第九2024参加説明会



コムズでの説明会では、「第九」の成り立ちなどについて学び、世界中で愛される理由を知りました。説明会の参加者は毎年増えており、ほぼ満席であったことから、クラシック音楽に興味を持つ市民が増えていくことを実感しました。

5/26 特定非営利活動法人美腸フローラ倶楽部
上映会「いただきます2 こは、発酵の楽園」




愛媛県男女共同参画センターでの上映会では、有機農業の重要性と食物を育て・食べることの大切さを再確認しました。参加者は発酵食品の試食により、自身の健康を考えるきっかけとなりました。

5/26 Bridge of Friendship
貿易ゲーム勉強会・ワークショップ第1回



新玉公民館で開催されたワークショップでは、15名の参加者が貿易ゲームを通じて、世界経済の動きを疑似体験しました。貿易問題やフェアトレードの学習と併せて、参加者同士の意見交換も活発に行われ、有意義な学びの場となりました。

6/30 NPO子どもの成長みまもり隊
お悩み解決ワークショップ 子どもの発達から保護者のメッセージ



愛媛県文化会館で行われた講演会には、36名が参加しました。理学療法士である胡崎亮介氏の講演から、子どもが歩くために必要な体の準備の仕方や運動発達、そして靴の選び方について学びました。参加者の日々の悩みの解決に繋がる、充実した内容となりました。